

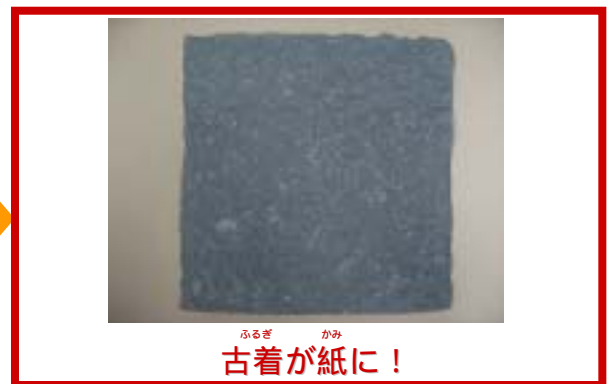
## リサイクルがなぜ必要か？

日本人が1年間に排出する衣服の量は、約126万トンとされています。ウエスや反毛の原料としてリサイクルされるのは、そのうちの約5%しかありません。約17%は国内外で古着として再利用されており、残りはすべて燃やしたり、埋め立てたりしているのが現状です。ウエス・反毛が必要とされる量には限りがあり、またほかの効果的なりサイクル方法がないことも、ほとんどがゴミとして処分されている原因となっています。

現状では古着もやがてはゴミとして処分されるため、衣服のゴミを減らすには、一人ひとりが衣服を大切にするライフスタイルが重要です。また、企業や大学はいろいろなりサイクル方法を研究していく必要があります。

その一つとして、わたしたちは大切に使うもう着れなくなった古着を、きれいな紙にしてみました。

## 古着から紙になるまで



協力：京都工芸繊維大学 繊維リサイクル技術研究センター